

札幌大谷中学校・高等学校

2024 年度外部点検・外部評価

2025 年 4 月 21 日

2024 年度の学校方針に基づく教育活動・運営の年間反省（自己評価）の点検・評価

をいただき、次年度に向けての教育現場の改善を図るものである。

札幌大谷大学学長

氏名

千葉 潤



- ・建学の精神や校訓・教育目標が、日常の教育活動に反映されるよう、新任を含む教員全体に周知徹底を図っている点が評価されます。
- ・中高グランドデザインを学校内外に広報し、各部署がグランドデザインを具体化する方針を立てて、実践されている点が評価されます。
- ・私学としての学習指導の目標や課題が十分に意識され、そのために努力が積み上げられている点が高く評価されます。また今後の具体的な課題もしっかりと意識されており、教育活動の質保証について、計画的・持続的な改善活動が行われています。
- ・生徒指導については、コンプライアンスを遵守しながら、丁寧な指導がなされ、学校生活を大切にする生徒の行動にも反映されています。また学校の規範や校則についても、生徒からの意見聴取を行うなど、生徒の自主性が尊重されている点が、高く評価できます。
- ・学内での教員組織間の「報連相」や保護者との連携の必要性や重要性が、つねに意識され実践されて、学校運営の安定化に貢献しています。

札幌大谷中学校・高等学校

2024 年度外部点検・外部評価

2025 月年 5 月 12 日

2024 年度の学校方針に基づく教育活動・運営の年間反省（自己評価）の点検・評価

をいただき、次年度に向けての教育現場の改善を図るものである。

保護者と教職員の会会長

氏名 伊藤 智秀



保護者による評価委員会を設け、活動内容を評価いたしました。

学校の建学の精神・校訓・教育目標の自己評価が A という実感を受けとめられる中で、その具現化のため「日常の姿勢」ということに各現場において周知を図る姿勢を評価いたします。

また、「札幌大谷としての教育理念の共有化」を課題とされていることも、校訓・建学の精神の具現化に向けた一つの姿勢の表れと感じます。その課題が、学内や教職員のみならず、生徒や保護者にも熟知されていくところに、はじめて共有という場が開かれていくのではないかと思います。

引き続き「宗教教育」を要とされる中で、札幌大谷中学高等学校が開かれた場として、生徒の学校生活が充実していくことを願っております。